



参加
無料

ロールモデル講演会 / FD 講演会

「ずっと、いたい」

と思える

大学づくり

女性研究者の活躍支援はみんなのチャンス



講師

田間 泰子 氏（大阪府立大学 人間社会システム科学研究科 教授）

家族社会学やジェンダー論の分野で多大の業績をお持ちの田間先生に、これまでの研究の歩みに加え、先生が携わってこれらた、大阪府立大学の女性研究者支援の取組み（支援と研究力育成）、および教員業績評価の取組みと大学評価の向上についてのご講演をしていただきます。

2017.12.1.FRI. 15:00-16:30

| 会場 | 岐阜大学 全学共通教育棟 1階
アクティブ・ラーニング教室

| 対象 | 岐阜大学・岐阜薬科大学・岐阜女子大学・アピ株式会社の全構成員

輝くギフジョ

検索

<https://diversity.gifu-u.ac.jp>



全研究者の環境改善にもつながる 女性研究者支援事業の取り組み

岐阜大学が代表機関となり、岐阜薬科大学・岐阜女子大学・アピ株式会社が連携しておこなう文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)」の最重要課題は、各機関における女性研究者採用比率・在職比率・上位職比率の向上です。各機関において、少しずつですがその割合は上昇し、女性の活躍は明らかに前進しています。しかし、国が掲げる目標(202030：2020年までに女性の管理職の割合を30%にする)には程遠いのが現状です。

この目標を、どのように達成することができるのか。近道はありませんが、補助事業を実施する全国の大学がさまざまな工夫をしています。

大阪府立大学は、公立大学として全国で初めて、女性研究者支援事業を展開し、ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブを獲得しました。これらの事業を大学の認証評価に活かすとともに教員業績評価と連動させ、女性研究者支援が全研究者のための環境改善の機会となるよう、取り組みを続けています。

この講演会では、今年度「男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰」を受けられた大阪府立大学の田間泰子氏から、ご自身の女性研究者としての経験も交えながら、大阪府立大学の取り組みをご紹介します。

講師プロフィール

1990年京都大学大学院文学研究科博士課程単位修得満期退学。2004年博士(文学)取得。専門社会調査士。専攻は家族社会学とジェンダー論。中でも「妊娠中絶」や「母性愛」などのテーマに鋭い考察を加えた著書を多数発表している。研究者・教育者として大学で教鞭をとる一方で、大阪府、東大阪市、河内長野市の男女共同参画審議会委員および委員長、また、大阪府立大学女性研究者支援センター長などを歴任している。

主要著書

- ・『母性愛という制度—子殺しと中絶のポリティクス』 勁草書房 2001年
- ・『「近代家族」とボディ・ポリティクス』 世界思想社 2006年
- ・『リスク社会のライフデザイン』
放送大学教育振興出版会(共著)2013年
- ・『問いからはじめる家族社会学』 有斐閣(共著)2015年
- ・『岩波講座日本歴史19 近現代5』 岩波書店(共著)2015年
- ・『助産学講座4 母性の心理・社会学』 医学書院(共著)2016年
- ・『よくわかる現代家族』 ミネルヴァ書房(共著)2016年

お申込み・お問い合わせ

参加希望の方は、①名前 ②所属 ③連絡先(mailまたはtel)を明記して、11月29日(水)までにお申し込みください。

※参加人数把握のため、事前申し込みにご協力をお願いします。

※お席に余裕があれば当日参加も歓迎します。

岐阜大学 男女共同参画推進室

Tel 058-293-3397

Fax 058-293-3396

E-mail kagayaku@gifu-u.ac.jp

清流の国 輝くギフジョ 支援プロジェクト

webサイト <https://diversity.gifu-u.ac.jp>

